

高張力鋼板巻取機国内トップシェア

北九州地区

北九州オンリーワン企業に認定

(株)植田製作所

家電や飲料缶、自動車のボディー、住宅やビルなどに使用される圧延された鋼材を巻き取る機械“テンションリール”と、巻き戻す機械“ペイオフリール”製造において国内で高いシェアを維持する(株)植田製作所(北九州市若松区、濱小路 兼生社長)は、このほど北九州オンリーワン企業の認定を受け、7月10日、北九州イノベーションギャラリー(北九州市八幡東区東田2-2-11)にて、認定証が授与された。



濱小路 兼生社長

【北九州市の看板企業として認定】

北九州市では独創的な製品や技術、サービスを提供する優れた中小企業を市の看板企業として認定し、情報発信・プロモーションする「オンリーワン企業創出事業」を実施している。平成21年に第1回がスタートし、以後2年ごとに北九州市内の中小企業がオンリーワン企業として認定。

今回5回目となり、認定されたのは(株)植田製作所、佳秀工業(株)、(株)戸畑製作所、(株)ワキノアートファクトリーの4社。今後北九州市が展示会出展支援などの関連施策を集中的に行い、その成長を支援することになる。認定式では北橋北九州市長が認定証を各企業の代表に授与し、今後さまざまな支援を行っていくと言明。そしてスクリーン上映にて各企業の紹介がなされ、代表のあいさつが行われた。



認定企業代表と北橋市長(中央)

【他の追従を許さない技術と特命受注】

(株)植田製作所は昭和21年創業という長い歴史を有し、この間、鉄鋼不況や円高不況、そしてリーマン・ショックによる景気悪化を乗り越え、主力製品である高張力テンションリール(鋼板巻取機)は、現在日本国内で製造しているところが少なくなり、圧倒的シェアを誇っている。その背景には技術力・品質向上への弛まぬ努力をしてきたことにある。受注先である大手鉄鋼メーカー、産業機械メーカーなどは会社ごとに使用する機械が異なり、すべて特注品となる。したがって高い精度が求められ間違いは許されない。

リールは近年経済発展が目覚ましい東南アジア、中国、インドなど海外からの引き合いが多いが、国内ではシェアの大きさゆえ、アフターフォローやオーバーホールの需要が拡大している。4代目となる濱小路社長は「過去幾多の困難を乗り越え、オンリーワン企業として認定されたのは感慨深い。今後も技術力を高め、確かな品質を提供し、一層の信頼を得るよう頑張っていきたい」と述べた。

【(株)植田製作所】

〒808-0027 北九州市若松区北湊町4-1

TEL 093-761-1431

FAX 093-751-0233

<http://www.ued-mfg.co.jp/>

代表者：濱小路 兼生

設 立：昭和21年12月

資本金：4,700万円

従業員：75名